

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	生物安全対策費	事業開始年度	昭和56年度	作成責任者		
担当部局庁	国立感染症研究所	担当課室	総務部会計課	課長 星野 真		
会計区分	一般会計	上位政策	-			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	病原体の中で、最もリスクの高いもの(BSL4)とランク付けされたものを取り扱い、研究者等の病原体からの保護、外部への漏出防止等のために対処した高度封じ込め実験施設の特性を持った施設の維持管理。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	研究者等の病原体からの保護、外部への漏出防止等のために対処した高度封じ込め実験施設の特性をもった施設を維持するために、常時機能が十分発揮できる状態に維持する。					
実施状況	各種設備の保守点検並びに点検結果に基づく予防保全及び空調差圧制御系統の見直しのための施設整備を行った。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	42	42	41	40	40
	執行額	42	42	41		
	執行率	100.0%	100.0%	100.0%		
	総事業費(執行ベース)	42	42	41		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	保守点検業務のうち、空調等主要な施設設備等4件については一般競争入札により発注した。その他の設備・機器については個別に5件、実績・技術等を勘案した複数の業者の競争見積りかけ随意契約により年次点検・整備を行った。その結果については報告書の提出及び報告会での報告を受けて確認した。 改修・修繕工事の6件については、同様に随意契約により発注し現場の確認及びその後の運転状況の確認を行っている。				
	見直しの余地	上記点検結果を参考に、施設の安定的かつ安全な運用のため、維持管理計画を短期・中期・長期的に分けて検討し、より計画的な発注方法を検討する。				
予算監視の効率化	一部改善(事業を一部見直し、概算要求に反映) 執行の観点からは概ね妥当であるが、真に必要な研究費の精査を行い、効率的な執行に努めること。					
補記						

国立感染症研究所  
41百万円  
高度安全実験室の維持管理



【一般競争入札・随意契約】

A. 民間企業(5機関)  
36百万円  
施設の設定機器の保守点検

【随意契約】

B. 民間企業(5機関)  
4百万円  
施設の改修工事

うち事務費 1百万円

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A.(株)日立プラントテクノロジー			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	空調機器等保守点検	9			
雑役務費	第一種圧力容器分解整備	1			
計		10	計		0
B.(株)オーテック			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	空調差圧制御装置改修工事	2			
計		2	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

## 生物安全対策費

## A. 民間企業(5機関) (単位:円)

支出先	金額
株式会社日立プラントテクノロジー	10,248,000
ジョンソンコントロールズ株式会社	9,563,400
セオービット株式会社	9,365,265
日立アプライアンス株式会社	5,643,225
サクラ精機株式会社	855,750
合計	35,675,640

## B. 民間企業(5機関) (単位:円)

支出先	金額
株式会社オーテック	1,575,000
株式会社日立プラントテクノロジー	849,450
東京ビジネスサービス株式会社	772,800
セオービット株式会社	357,000
日立アプライアンス株式会社	175,875
合計	3,730,125